
窓から見る彼女

K

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

窓から見る彼女

【Nコード】

N3021B

【作者名】

K

【あらすじ】

好きな人と窓こしでしか会えないそして、窓こしに愛することで本当に大切な物は何かをするまでの恋愛ストーリーである。

窓（前書き）

出来れば窓のそばで呼んで頂きたいです。

窓

あなたは窓から外見ますか？

あなたは外から中を見ますか？

あなたは窓から見る世界を信じますか？

本当に自分の大切な人はすぐそばにいますか？

桜のプレゼント（前書き）

二話がやっと完成
遅れました

出会いのシーンに頑張ったので
想像しながらよんでください

桜のプレゼント

桜が舞うとある学校……

「皆さん今日、教育実習の先生が来てくれましたよ。角 和也先生です。」

パチパチと拍手と一緒に若い男が入って来た

「角 和也と言います。よろしく」

つと黒板に名前を書いた

やはり高校生である…

「先生彼女いるの〜」

つと女の子達がクスクス笑いながら聞いてきた

「先生は彼女つくりません」

「え〜」

つと女の子達が疑うように声を上げた

角は笑いながら窓をみた

懐かしいなあ〜つと角は昔の事を懐かしみ始めた。

「え〜ここわね…」

つと

先生の声が聞こえてくる

みんながノートに先生の書いたことを写しているとき

ガタガタと春の暖かい風が窓を揺らした

その風が気になったのか、一人の少年が窓から外を眺めた

外では風に舞っている桜が吹雪いていた。

少年は舞う桜に心を奪われたように桜の後を目でおっていた。すると一枚の桜がヒラヒラと女子高生の手のひらにのった

少年はその女子高生を見た時ドキッと胸の鼓動を感じた。

彼女は体育だったのであろう、体操服姿だった。

少年は細身でモデルのような彼女に見とれており桜に舞う彼女はより綺麗見えた。

すると、彼女は気がついたかのように

窓から見る少年の方に顔を向けた。

彼女は、少年と目が合うとニコッと笑顔を作り軽く手を振った…

少年は驚いて窓から目をはなし前を向いた時

先生が目の前にいた

「オイ！角、何外ばかり見てるんだ…かわいい子でもおったんか」
教室は先生のその発言で爆笑の渦になった

その少年、角は違う、違うと連呼しながら

チラッと窓の外を見た

すでにそこには彼女の姿はなかった。

空と恋

授業が終わり昼休みになった角は、弁当を持って友達と一緒に屋上へと上がって行った。

ギィーっとドアを開けて外に出た…

「あーやつと授業終わったよ」

つと口々に友達らが声をもらす。

角達は空を見上げながら弁当を食べ始めた。

「高校生にもなったのに男だけで食事ってどうよ？」

もつともだつと皆がうなずく

弁当を食べ終わると

「彼女がほしい」

つと叫び皆が後ろに倒れこんだ

そしてしばらく空を眺めた

すると友達の一人が喋り始めた。

「みんなに聞くがもし彼女が出来たとして」

「俺の彼女になったんだなっと思う時ってどんなときだ？」

周りの友達らは、口々にキスした時や、手をつないで帰るときなど、ありきたりな返答だった。

「角はどうなんだ？」

そう聞かれた角は少し黙り込み

「何だかみんなの言うことは違う気がする」

つと答えた。

何故か周りが静かになり角達も静かに黙り込んだ。

するとまた違う友達の一人が

「何だか深刻な雰囲気になっちゃったね」

つと小声で言つたのをきっかけに

糸が切れたように皆が笑い始めた。

笑いがおさまると、突然角達は立ち上がり屋上の端まで走り出し柵

に足をかけ

「青春のバカやる」

つと大声で叫びだした。

そしてまたみんなで笑い出した。

「俺達、会って1ヶ月しかしてないのにベストフレンドやな」

そう発言しているこの友達は、大嶋と言ひ

小学校の時からずっと同じ学校で幼なじみである。

そうこうしていく間に

キンーコンカンコン」

つとチャイムが鳴り響いた。

「やべ、角早く教室戻ろうぜ」

角達は階段降り教室へと向かった。

角が教室へ向う途中窓を見ると中庭に座るあの時、彼女がいた。

角は立ち止まり窓から彼女を眺めた。

角は彼女を見ているだけで幸せに感じていた。

するとまたドキッと胸の鼓動を感じた。

「角、何してる授業遅れるぞ」

ハッと気がついた角は、窓を眺めながら教室へと向かった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3021b/>

窓から見る彼女

2010年12月14日14時57分発行